3 交通事業会計

〔概要〕

令和6年度は、安定した事業運営・事業継続に向けて、「2024 年問題」への対応を踏まえた運転士の労働環境の改善、ハローワーク実施の会社説明会への参加や、バス運転未経験者を対象とした運転体験会の年4回の定期開催を継続し、運転士不足の解消に取り組みました。

また、ひとりでも多くの人に路線バスを利用していただくため、高齢者を対象とした「乗り方教室」を実施し、バスの利用及びICカードの普及促進に取り組みました。

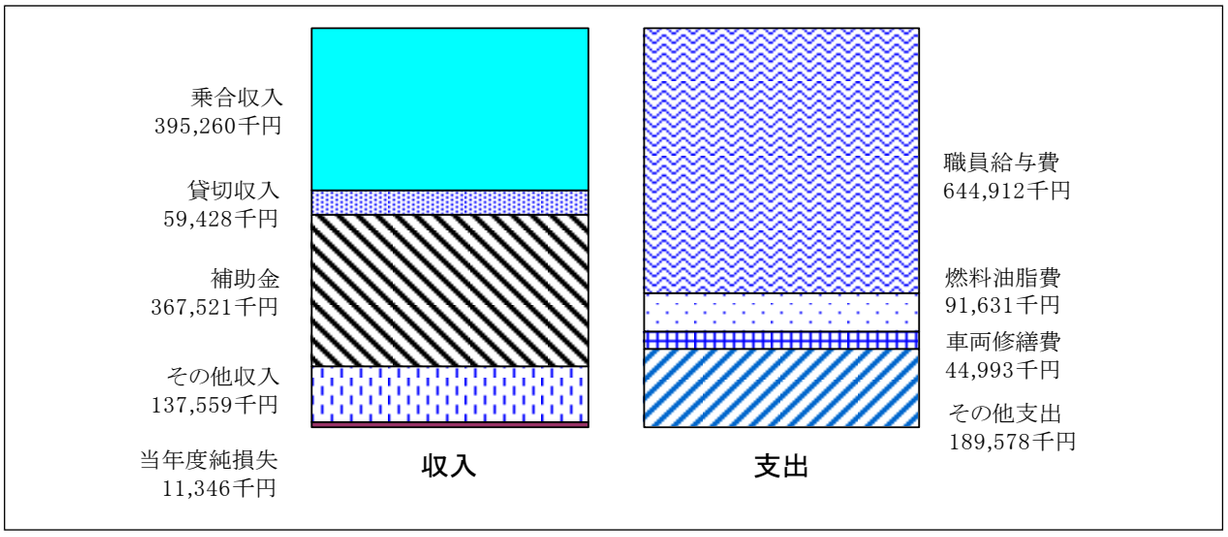
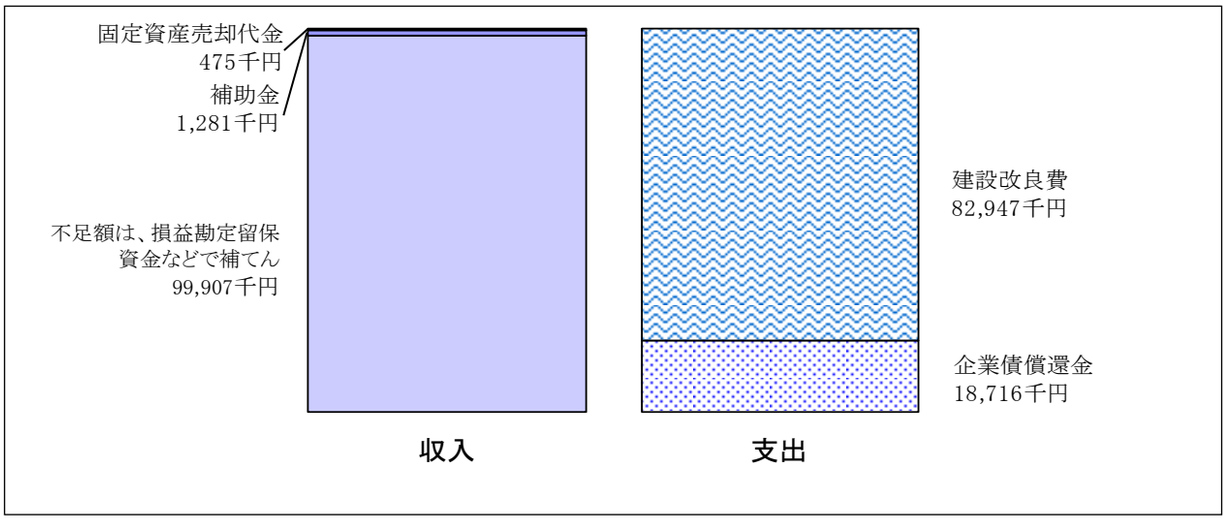
業務量については、乗合事業では、稼働バス台数は 17,116 台(前年度比 102.4%)、走行キロ数は 2,607 千㎞(前年度比 99.2%)、輸送人員は 1,800 千人(前年度比 95.7%)となりました。

一方、貸切事業では、稼働バス台数は 1,003 台(前年度比 148.4%)、走行キロ数は 102 千㎞(前年度比 150.7%)、輸送人員は 21 千人(前年度比 147.1%)となりました。

経営成績については、事業収益は 959,768 千円に、事業費用は 971,114 千円となり、収支差引の結果、当年度純損失は 11,346 千円に、また、当年度未処分利益剰余金は 107,974 千円となりました。

資本的収支については、収入は、国・県補助金等で 1,756 千円、支出は、路線バス2台の新車購入費用及び企業債償還金等で 101,663 千円となり、差引不足額 99,907 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 7,381 千円及び過年度分損益勘定留保資金 92,526 千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕